

# 子ども大統領

だいたいよう

しよう太くんたちは、もうすぐ四年生になります。

しよう太くんの小学校では、子ども大統領選挙が毎年三学期に行われます。

次の年の六年生の子ども大統領が、小学校の一年間の目標を決めて、四月からいろいろな委員会の委員たちと計画を立てて、小学校生活を楽しく良いものにできるよう、実行していくのです。

今日の全体朝会で、来年度の子ども大統領選挙の立候補者の意見発表が行われました。

しよう太くんたち三年生も、選挙で、来年の子ども大統領を選ぶ投票をすることができ  
ます。

しよう太くんとお友だちのあやちゃんは、教室にもどってから、立候補者についていろいろ感想を話しています。



「あやちゃん、五年二組の林ゆうすけ先輩、すごいよね。」



「かっこよかったー。」

林先輩はいつも、サッカー部で大活躍だものね。」



「副大統領候補の先輩も、

『私もしっかり支えてがんばります』って言ってたし。

ぼく、林先輩とえみ先輩の二人に投票しようっど。」



「小学校を良くする、いろいろな計画を立てようとしているところがすごく良かったわよね。わたし、五年生になったら、絶対に子ども大統領に立候補するわ。」

しよう太くん、副大統領候補になってよ。二人で立候補しようよ。」

しよう太くんは、びっくりしてあやちゃんを見ました。





「あやちゃん、ふくだいとうりょう副大統領じゃなくて、だいとうりょう大統領？  
だいとうりょう子ども大統領って、いつも男子がやってるんじゃない？  
りっこうほ立候補しても、きっと男子に負けちゃうよ。」

しょう太くんがそう言うと、あやちゃんもしょう太くんを見ました。



「女子がだいとうりょう大統領をやったらだめなの？どうして？」

だいとうりょう大統領は男子がいいってみんな思ってるの？

そんなのおかしいわ。女子だってできると思うなあ。」

と、あやちゃんが言うと、しょう太くんは何も言えなくなりました。

あやちゃんは怒って、だまっています。

しょう太くんもすっかり考えこんでしまいました。

# 子ども大統領

〔 月 日 〕 ( )

■ 子ども大統領は男の子と女の子のどちらが向いていると思いますか。

■ 子ども大統領選挙は、どのようにしていくとよいのか、しよう太くんとあやちゃんにアドバイスをしましょう。

○をしましょう。

男の子 ・ 女の子 ・ どちらも

【理由】

■ 今日の授業を通して、思ったこと、考えたことを書きましょう。

今日の学習はどうでしたか。  
あてはまるところに○をつけましょう。

しっかり  
考えた

新しく気づいた  
ことがあった

これからたいせつに  
したいことがわかった